

箏曲部第33回定期演奏会「お箏のしらべ」

4月30日（月・振替休日）、山形市中央公民館大ホールにおいて、山形西高等学校箏曲部第33回定期演奏会が開催されました。3年生13名、2年生12名、1年生10名、計35名の部員が一丸となって、この演奏会の成功に向けて昨年の秋から練習と準備をしてきました。毎年この演奏会を楽しみにしてくださっている市民の方々も多く、今回の演奏会も多くのお客様に御来場いただきました。

「箏（こと／そう）」は日本古来の楽器であり、たとえば、宮城道雄が作曲した「春の海」は、お正月に聴かれる曲としてあまりにも有名です。現在は、小学校の音楽の授業において、箏などの和楽器の演奏も盛んに取り入れられているそうです。しかし、箏曲は想像以上に幅広いジャンルを網羅しています。西高箏曲部も、講師の先生方に熱心にご指導いただきながら、多くの曲を演奏しています。

今回の演奏会では、日本の伝統的な作風をもつ曲だけではなく、マンガ『この音とまれ』の中に登場する曲や、ディズニーのものを部員がアレンジした曲など、全8曲を暗譜で演奏しました。

部員全員での合奏、尺八の先生方との共演、学年ごとのアンサンブル、また、照明にも工夫を凝らすなど、耳で聴いて、目で見ても楽しむことのできる演奏会になるよう努めてきました。

特に今年度は、曲と曲との間に緞帳を下ろさずに、箏の配置換えや曲の準備を見ていただき、部員がその説明をするという試みを3年生のアイデアで行いました。来場者からのアンケートでも興味深かったとの声をたくさん頂戴しました。



ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。